

取扱注意

教科用図書の調査・研究の観点等について

- 1 国 語
- 2 書 写
- 3 社 会 (地理的分野)
- 4 社 会 (歴史的分野)
- 5 社 会 (公民的分野)
- 6 地 図
- 7 数 学
- 8 理 科
- 9 音 楽 (一般)
- 10 音 楽 (器楽合奏)
- 11 美 術
- 12 保健体育
- 13 技術・家庭 (技術分野)
- 14 技術・家庭 (家庭分野)

- 15 英 語
- 16 道 徳

令和2年8月6日 (木)

教科用図書の調査・研究の観点等について【国語】

国語科の 目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を養い、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元・教材の目標の示し方</p> <p>② 言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>③ 読書と情報の扱い方に関する事項</p>	<p>○ 目標の示し方</p> <p>○ 新出漢字の示し方、重要語句の示し方、言語・漢字・文法の扱い</p> <p>○ 読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等、情報の扱い方に関する事項に関わる内容</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫</p>	<p>○ 実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標、学習活動</p> <p>○ 単元名・教材名、目標、学習過程・見通しを立てさせるための資料等の扱い</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元・教材等の配列</p> <p>⑦ 伝統と文化に関する内容の記述</p>	<p>○ 配列の特徴、総単元数、領域ごとの教材数</p> <p>○ 伝統的な言語文化に関する単元数、単元名・教材名</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 本文記述との関連付けがなされた図表等</p> <p>⑨ 巻末資料の示し方</p>	<p>○ 文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名、目標、図表等の種類</p> <p>○ 巻末資料の示し方と内容及びページ数</p>
言語活動の充 実	<p>⑩ 考えを伝えるなどして話し合う活動の工夫</p>	<p>○ 単元名、例示されているテーマ・議題、言語活動例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【書写】

国語科の 目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を養い、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標の示し方</p> <p>② 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</p>	<p>○ 単元ごとの目標の示し方と目標の数</p> <p>○ 正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	○ 学習過程の示し方と構成、示し方の特徴
内容の構成・ 配列・分量	<p>④ 単元・教材や資料等の配列</p> <p>⑤ 伝統と文化に関する内容の記述</p>	<p>○ 総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数</p> <p>○ 伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い</p>
内容の表現・ 表記	⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫	○ 筆使いの示し方、紙面構成、デジタルコンテンツの扱い
言語活動の充 実	⑦ 学習や日常生活に生かせる言語活動の工夫	○ 教科の学習や日常生活に生かす単元等、教材及び教材の扱い

教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（地理的分野）】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 学習課題の示し方	○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	○ 「日本の諸地域」における日本の地域区分と中核とした考察の仕方及び内容 ○ 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	○ 「世界の諸地域」の地域区分と主題（地球的課題）の記載及び知識・技能を身に付けさせる工夫
主体的に学習 に取り組む工夫	④ 単元の導入における工夫	○ 各単元の導入における、興味・関心を引き出す工夫と具体例
	⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	○ 「地域調査の手法」及び「地域の在り方」における、調査の手順と方法の具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑥ 単元や資料等の配列・分量	○ 総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容とページ数
	⑦ 防災教育の充実	○ 「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例
内容の表現・ 表記	⑧ 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用	○ 資料の種類及び掲載数、掲載の仕方
	⑨ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等
言語活動の 充実	⑩ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	○ 小単元のまとめの具体例

教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（歴史的分野）】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 学習課題の示し方</p> <p>② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <p>③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫</p>	<p>○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例</p> <p>○ 文化遺産の示し方、神話・伝承等に関する記載内容</p> <p>○ 日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数と内容</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 単元の導入における工夫</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p>	<p>○ 各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫の具体例</p> <p>○ 「身近な地域の歴史」で示している調べる手順・方法及び記載の仕方</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元や資料等の配列・分量</p> <p>⑦ 主権者育成のための工夫</p>	<p>○ 各時代区分のページ数</p> <p>○ 古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がり記載内容</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <p>⑨ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p>	<p>○ 資料の種類及び掲載数、掲載の仕方</p> <p>○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等</p>
言語活動の充 実	<p>⑩ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p>	<p>○ 単元末における「時代の特色」をまとめる学習の具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【社会（公民的分野）】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 学習課題の示し方</p> <p>② 公民としての基礎的 教養を培うための工夫</p> <p>③ 国際社会で主体的に 生きていくための基盤 となる知識・技能を身に 付けさせる工夫</p>	<p>○ 1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例</p> <p>○ 現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例</p> <p>○ 国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 単元の導入における 工夫</p> <p>⑤ 課題の設定、整理・分 析、振り返りを展開する ための構成上の工夫</p>	<p>○ 各単元の導入における、興味・関心をもたせるための工夫の具体例</p> <p>○ 持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元や資料等の配 列・分量</p> <p>⑦ 社会参画への意識を 高める工夫</p>	<p>○ 総ページ数、各大項目のページ数、その他のページ数</p> <p>○ 「民主政治と政治参加」における、社会参画を促している具体例</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 学習内容との適切な 関連付けがなされた絵 図・写真等の活用</p> <p>⑨ 掲載されている情報 を精選し、視点を明確に する工夫</p>	<p>○ 資料の種類及び掲載数、掲載の仕方</p> <p>○ ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等</p>
言語活動の充 実	<p>⑩ 目的に応じて適切に 表現する力を育てるた めの工夫</p>	<p>○ 単元末におけるまとめ方の具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【地図】

社会科の 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 地図の活用をうながす工夫</p> <p>② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p>	<p>○ 地図の見方の記載とその内容</p> <p>○ 国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>③ 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫</p> <p>④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫</p>	<p>○ 思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容</p> <p>○ 課題を追究するための資料の構成</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑤ 題材や資料等の配列</p> <p>⑥ 防災教育の充実</p>	<p>○ 内容の構成と配列及びページ数</p> <p>○ 地図を活用した記載の具体例</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p>	<p>○ 地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方</p>
言語活動の充 実	<p>⑧ 観察・調査や各種資料の活用の工夫</p> <p>⑨ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p>	<p>○ 地図を活用した調べ方の事例</p> <p>○ 地図を活用した表現の記載の仕方と具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【数学】

数学科の 目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標を達成するための工夫</p> <p>② 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 学習課題と解決の過程、関連する例題や問題の具体例と数</p> <p>○ 学習内容の定着や既習事項の確認、振り返りに関する扱いと問題数</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>④ 問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>⑤ 見通しをもち、論理的に考察するための工夫</p>	<p>○ 日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例と題材数</p> <p>○ 問題の具体例と数</p> <p>○ 見いだす活動を行うための具体例とその展開</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元や資料等の配列</p> <p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述</p>	<p>○ 各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例</p> <p>○ 発展的な問題の具体例と数</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用</p>	<p>○ イラスト・写真の具体例と数及びデジタルコンテンツの扱いと数</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫</p> <p>⑩ 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫</p>	<p>○ 説明したり、話し合ったりする問題等の具体例</p> <p>○ ノートやレポートのかき方の扱い、記載例、記述ページ数</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【理科】

理科の 目標	<p>自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
-----------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標の示し方及び学習内容への入り方</p> <p>② 知識や概念の定着を図り，理解を深めるための工夫</p> <p>③ 観察，実験の技能を習得させるための工夫</p>	<p>○ 単元の導入における取扱い内容，単元の第1章・第1時における学習のねらいの提示までの流れ</p> <p>○ 既習事項の取扱い方及び補充的な問題の設定</p> <p>○ 観察，実験における数・内容・手順・補足事項及び観察，実験における安全確保の状況</p>
主体的に学習 に取り組む工夫	<p>④ 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫</p> <p>⑤ 科学的に探究する力の育成を図る工夫</p>	<p>○ 学習内容と日常生活や社会，職業との関連を図った読み物等</p> <p>○ 探究の過程の示し方及びその具体例</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元の配列の工夫</p> <p>⑦ 補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫</p>	<p>○ 単元の配列，ページ総数</p> <p>○ ものづくりの数，補充的な観察・実験の数及び発展的な学習の取扱い数</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い</p>	<p>○ 巻頭・巻末における写真や資料等の内容と量</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 観察，実験を計画する学習活動，結果を分析し解釈する学習活動の工夫</p> <p>⑩ 科学的な概念を使用して考えたり，説明したりする活動の工夫</p>	<p>○ 観察，実験を計画する視点及び分析・解釈する視点の示し方とその具体例</p> <p>○ レポートの数，作成の示し方及び話し合いや説明の学習活動の示し方</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽（一般）】

音楽科の 目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 題材や学習目標等の示し方</p> <p>② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <p>③ 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 題材・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例</p> <p>○ 歌唱の技能に関する記載及びその具体例、歌唱共通教材の構成と扱う学年</p> <p>○ 創作の題材の取り上げ方、題材名、指導事項、創作の題材構成の具体例</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <p>⑤ 音や音楽を生活や文化などに関連付ける工夫</p>	<p>○ 歌唱分野に関する学習過程等の示し方と具体例</p> <p>○ 音や音楽と生活との関わりについての記述</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <p>⑦ 教材の配列及び分量</p>	<p>○ 学年ごとに扱う鑑賞教材・歌唱教材</p> <p>○ 教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p>	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p>	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動の具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【音楽（器楽合奏）】

音楽科の 目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 題材や学習目標等の示し方</p> <p>② 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 題材・学習目標等の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例</p> <p>○ リコーダー及び和楽器の取扱い方</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>③ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>④ 和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫</p>	<p>○ 資料や巻頭の内容</p> <p>○ 箏の学習展開の工夫</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑤ 教材の分量及び構成</p>	<p>○ 楽器別カテゴリー別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数、内容の構成</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑥ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p>	<p>○ 音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫</p>
言語活動の充 実	<p>⑦ 器楽分野における言語活動の工夫</p>	<p>○ 音楽科の特質に応じた言語活動の具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【美術】

美術科の 目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 題材の目標等の示し方</p> <p>② 〔共通事項〕を視点とした学びの示し方</p> <p>③ 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 題材の目標等の表記の仕方と具体例</p> <p>○ 〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例</p> <p>○ 形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載と具体例</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>⑤ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動</p> <p>⑥ 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫</p>	<p>○ 表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例</p> <p>○ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例</p> <p>○ 生活や社会の中の美術の働きを示す具体例</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑦ 題材の配列</p>	<p>○ 題材数、構成や配列</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 作品等についての示し方の工夫</p>	<p>○ 作品等や造形活動の示し方と具体例</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫</p>	<p>○ 発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方と具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【保健体育】

保健体育科の 目標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>
--------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 単元の目標、系統性の示し方</p> <p>② 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫</p> <p>③ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 単元の目標と系統性の示し方、課題提示と1時間の学習の流れの示し方</p> <p>○ 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例</p> <p>○ 基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>④ 興味・関心を高めるための工夫</p> <p>⑤ 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力の基礎を育てる工夫</p>	<p>○ 興味・関心を高める工夫と読み物の取扱い数及び具体例</p> <p>○ 健康課題の解決に関わる内容、技能に関する内容等を充実させるための工夫及び具体例</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑥ 単元・題材や資料等の配列</p> <p>⑦ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫</p>	<p>○ 各単元における項目、資料等の配列</p> <p>○ 発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑧ 本文記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用</p>	<p>○ イラスト・写真の示し方、マーク等の活用</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 思考し判断したことを、言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</p>	<p>○ 知識や経験に照らして自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫と具体例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【技術・家庭（技術分野）】

<p>技術・家庭科 (技術分野) の目標</p>	<p>技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
----------------------------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 目標の示し方</p> <p>② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 各内容における学習項目の目標の示し方と具体例</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>③ 「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <p>④ 学習過程の工夫</p>	<p>○ 「技術の見方・考え方」に気付かせ，意識させるための示し方</p> <p>○ 主体的な学びを促す学習過程の示し方</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑤ 題材や資料等の配列</p> <p>⑥ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p>	<p>○ 題材及び学習内容の配列と分量</p> <p>○ 実践的・体験的な学習の具体例</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑦ 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <p>⑧ ユニバーサルデザインへの取組</p>	<p>○ 各教科等と関連する内容の示し方と具体例</p> <p>○ 特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫</p>
言語活動の充 実	<p>⑨ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり，説明したりする学習活動の工夫</p>	<p>○ 言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【技術・家庭（家庭分野）】

技術・家庭科 (家庭分野) の目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
-------------------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	<p>① 目標の示し方</p> <p>② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫</p>	<p>○ 各内容における学習項目の目標の示し方と具体例</p> <p>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る記述の工夫</p>
主体的に学習 に取り組む工 夫	<p>③ 「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫</p> <p>④ 学習した内容を家庭や地域で実践するための記述</p>	<p>○ 「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方</p> <p>○ 「生活の課題と実践」の示し方と実践例</p>
内容の構成・ 配列・分量	<p>⑤ 題材や資料等の配列</p> <p>⑥ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p>	<p>○ 題材及び学習内容の配列と分量</p> <p>○ 実践的・体験的な学習の具体例</p>
内容の表現・ 表記	<p>⑦ 各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <p>⑧ 発展的な学習の扱い方</p> <p>⑨ ユニバーサルデザインへの取組</p>	<p>○ 各教科等と関連する内容の示し方と具体例</p> <p>○ 発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例</p> <p>○ 特別支援教育へ配慮した構成・デザインの工夫</p>
言語活動の充 実	<p>⑩ 言葉や図表を用いて生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動の工夫</p>	<p>○ 言語活動を取り入れた学習の示し方と活動例</p>

教科用図書の調査・研究の観点等について【英語】

外国語科の 目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
-------------	--

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 単元の目標の示し方	○ 目標の示し方及び具体例
	② 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	○ 文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	○ 日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例
	④ 単元等における振り返りの充実	○ 単元など学習内容のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
内容の構成・ 配列・分量	⑤ 小学校外国語科との接続を図った構成・配列	○ 小学校外国語科との接続を図った内容の掲載箇所及び具体例
内容の表現・ 表記	⑥ 巻末等資料の工夫	○ 巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例
	⑦ 学習到達目標の設定	○ 自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所と具体例
言語活動の充 実	⑧ 対話的な学びを促す言語活動の工夫	○ 自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の内容
	⑨ 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫	○ 4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

教科用図書の調査・研究の観点等について【道徳】

道徳科の 目標	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
------------	---

観点	視点	方法
基礎・基本の 定着	① 道徳科の学び方等の 示し方	○ オリエンテーションのタイトル、示し方、記載 例
	② 発問の工夫	○ 記載箇所、数、記載例
主体的に学習 に取り組む工 夫	③ 問題解決的な学習を 取り入れた工夫	○ 問題解決的な学習の扱い、教材名等・内容項目・ 問題意識のたせ方、発問の具体例
	④ 体験的な学習を取り 入れた工夫	○ 体験的な学習の扱い、教材名等・内容項目・体 験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体 例
内容の構成・ 配列・分量	⑤ 分量や教材の数	○ 判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
	⑥ 現代的な課題等を踏 まえた内容の示し方	○ いじめの問題の扱いと教材等の例
内容の表現・ 表記	⑦ 巻頭等、巻末等の取扱 いの工夫	○ 巻頭等、巻末等の示し方
	⑧ 教材の内容を理解さ せる工夫	○ マーク・キャラクター等の示し方と活用の具体 例
言語活動の充 実	⑨ 考えを伝え合う活動 の工夫	○ 話し合いを促す示し方と具体例
	⑩ 考えをまとめたり、振 り返ったりする活動の 工夫	○ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示 し方、まとめや振り返りの数等と具体例